

放射能関係のお知らせ

2018年1月3回(D週)

お届け日:2018/1/22~2018/1/26
発行日:2018/1/8



本誌は、カタログ掲載の青果について、2018/1/4(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果実	いちご	品目で検査済	たまつくり・とちのみ・うつのみや・はが野・海上・佐原・遠州
	キウイ	品目で検査済	小田原・やはた会・久望
	みかん	品目で検査済	小田原・久望
	りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園・雄勝・天童・米沢郷・さみず・青木・サンファーム
果菜	きゅうり	品目で検査済	八千代・村悟空・佐原
		果菜類で検査済	サンド旭・和郷
	スナップえんどう	品目で検査済	南伊豆
	トマト	品目で検査済	葉菜野果・うつのみや・野菜くらぶ
		果菜類で検査済	沃土・元気会・村悟空・佐原
ミニトマト	品目で検査済	あゆみの会・元気会・和郷	
	果菜類で検査済	八千代・野菜くらぶ・沃土・村悟空・サンド旭	
葉菜	大葉	葉菜類で検査済	和郷
	キャベツ	品目で検査済	谷田部・たまつくり・八千代・野菜くらぶ・埼玉産直・村悟空・海上・佐原・和郷・南伊豆・三浦EM・遠州
		葉菜類で検査済	沃土
		検査予定	あいづ
	小松菜	品目で検査済	有機農法ギルド・群馬モグラ
		葉菜類で検査済	谷田部・たまつくり・葉菜野果・やさと・野菜くらぶ・沃土・南埼玉・佐原・八街・和郷・風土の会
	サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直・野菜くらぶ・沃土・八街・海上・和郷・風土の会
	春菊	品目で検査済	あゆみの会・元気会
		葉菜類で検査済	夢みなみ・たまつくり・うつのみや・レインボー・村悟空・沃土・佐原・サンド旭・和郷
	ターサイ	葉菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・風土の会・遠州
チンゲン菜	品目で検査済	こまち・あゆみの会	
	葉菜類で検査済	沃土・和郷・遠州	
菜の花	品目で検査済	小田原	
	葉菜類で検査済	南伊豆	
にら	葉菜類で検査済	葉菜野果・元気会・野菜くらぶ	
ねぎ	品目で検査済	沃土・八街	
	葉菜類で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・八千代・やさと・野菜くらぶ・利根川・南埼玉・村悟空・佐原・風土の会	
白菜	葉菜類で検査済	谷田部・八千代・常総産直・八街	
ブロッコリー	品目で検査済	谷田部・八千代・野菜くらぶ・沃土・南埼玉・村悟空・海上・佐原・サンド旭・和郷	
ベビーリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー	

分類	品目名	放射能検査の状況	
葉菜	ほうれん草	葉菜類で検査済	新しいわて・谷田部・有機農法ギルド・常総産直・たまつくり・あゆみの会・八千代・やさと・うつのみや・利根川・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷・風土の会
		品目で検査済	葉菜野果
	みず菜	品目で検査済	谷田部・佐原
	ルッコラ	葉菜類で検査済	葉菜野果・沃土・南埼玉・和郷
	レタス	品目で検査済	野菜くらぶ・佐原
葉菜類で検査済		八千代・沃土・海上・サンド旭	
かぶ	品目で検査済	沃土	
	根菜類で検査済	谷田部・たまつくり・八千代・海上・佐原・和郷	
	品目で検査済	谷田部・有機農法ギルド・やさと・風土の会	
ごぼう	品目で検査済	常総・たまつくり・葉菜野果・佐原・和郷・清瀬	
	根菜類で検査済	八千代・あゆみの会・八街・佐原	
里芋	品目で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・風土の会	
	根菜類で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド・葉菜野果・たまつくり・佐原・和郷	
さつまいも	品目で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド・葉菜野果・たまつくり・佐原・和郷	
	根菜類で検査済	村悟空・和郷	
しょうが	品目で検査済	たまつくり・八千代・海上・三浦EM	
	根菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・沃土・村悟空・八街・佐原・風土の会・和郷	
大根	品目で検査済	常総・谷田部・葉菜野果	
	根菜類で検査済	常総・たまつくり・常総産直・あゆみの会・村悟空・佐原・和郷・清瀬	
長芋	品目で検査済	谷田部・有機農法ギルド・葉菜野果・やさと・沃土・農法の会・海上・八街・風土の会	
	根菜類で検査済	八峰園・田子	
人参	品目で検査済	常総・有機農法ギルド・たまつくり・新ひたち野・あゆみの会・佐原	
	根菜類で検査済	常陸	
にんにく	品目で検査済	常陸	
ほしいも	品目で検査済	常陸	
れんこん	品目で検査済	常陸	

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
*検査対象地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・茎菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのこ・南伊豆・渡辺きのこ
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済	谷田部
なめこ	品目で検査済	谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済	谷田部
ささかみのまいたけ	品目で検査済	ささかみ
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済	谷田部 *生しいたけからは放射能が検出されました

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/12/20	9.2
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
栃木こしひかり	日本の稲作を守る会	2017/10/18	3.1 4.8
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

*白米で検査を行ったところ、放射能の検出はありませんでした。

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 373 きなり 302 きなりセレクト 341088	食べきり寄せ鍋セットのしいたけ	2017/11/6	3.8
コトコ 361 きなり 298	炒り豆腐セットのしいたけ	2017/12/20	9.2
コトコ 365 きなり 290	坦々マーボー豆腐セットのしいたけ		
コトコ 111309 きなり —	白菜と豚ひき肉の中華春雨セットのしいたけ		
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 111848 きなり 112801	岩手県産乾しいたけ(徳用)	2017/7/27	5.0
乾物屋 138118	岩手県産乾しいたけ(どんこ)		
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
120粒:185485 240粒:185493	ブルーベリー&ルティン	2017/12/5	8.2
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコ 260	冷凍さつまいもスティック	2017/11/20	1.3
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

*乳幼児用指定商品につき、yumyum 基準で検査

2018年 8年目にむけて

先日、1月1回の放射能レポートに鎌仲ひとみ監督に登場いただきましたが、その際、取材に同行いたしました。監督は、放射能で引き起こされた事例や影響をうけた方々に寄り添って取材されてきました。

Non Judgement＝偏見なきまなざし

鎌仲監督は、「Non Judgement」なのだとおっしゃいました。「小さな声のカノン」は、選択する人々という副題がついています。パルシステムの生産者も組合員も、原発事故後に多くの「選択」を行っています。そのおのおのの選択について、他の人が Judgement＝判断することではないのだということです。

あの時、「何かをしなかった」、「何かをしてしまった」としても、それはその時のベストであったのだということです。

自分の考えや選択と違っていても、Judgeするのはやめて、その選択に興味をもち、お互いを認めていくことからスタートしていくことが大事なのだと。保養に行く、行かない。この食品を食べる、食べない。さまざまお互いの選択がありました。

今は、「心のケアが絶対的に足りない」と鎌仲監督はおっしゃっています。心配している人、自分を責め続けている人など放射能のことを話したくても、なかなか話すことができずにいます。

ちゃんとつながって、話せることが大事なのだと思います。何よりも、「孤独は心をむしばむ」のだとお話しされていました。なおのこと、Non Judgement＝偏見なきまなざしが必要なかもしれません。

「自分の身体の主人公」として、放射能を防護していくのは大事なことだとのことです。

よりよく、より健康のために、健康診断をうけるとか、エコー検査を受けるとか、一部で産地偽装もあるので、検査をしてどこのものかがわかっているものを食べるとか、この時期にもできることはあります。

また、放射能自体についての、意識が薄らいでいくことも問題で、食品への問い合わせはとても大事なことで監督はおっしゃいました。一般消費者から「放射能検査はしていますか？」という問い合わせがなければ、検査をしなくなります。メーカーに問い合わせをしていくのも自己防衛の一つになるとお話し下さいました。

鎌仲監督への取材についての感想はここまでです。

パルシステムでは、2018年度も検査を引き続き行っています。組合員の皆様からのお問い合わせは全て目を通し、確認しております。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第1063)」(2017/9/25～2017/12/8で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された検体上位数件です。

シイタケ(原木・菌床):宮城県大衡村ほか	1.1～23Bq/kg
ムキタケ:青森県十和田市ほか	5.2～21Bq/kg
ナメコ:青森県十和田市	5.8～26Bq/kg
ナマズ:茨城県霞ケ浦(北浦)	40Bq/kg
スズキ(海の魚):千葉県銚子市(利根川)	29Bq/kg
ウナギ:千葉県銚子市(利根川)	21Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された上位数点です。

米(玄米):福島県二本松市	47Bq/kg
シイタケ:福島県会津美里町	35Bq/kg
ナメコ:福島県会津美里町	30・31Bq/kg
ユズ:福島県南相馬市	4～27Bq/kg
大豆:福島県西郷村	4～23Bq/kg
ヤマメ:福島県福島市(阿武隈川水系)	62Bq/kg
ギンブナ:福島県猪苗代町(秋元湖)	43Bq/kg
コイ:福島県猪苗代町(秋元湖)	35Bq/kg
ウグイ:福島県猪苗代町(秋元湖)	33Bq/kg

山のほとんどが除染を行っていないため、放射能の減衰が自然の状態に任されています。集積しているところと少なくなっているところとがありますが、状況はきちんと把握できていません。

放射能を多く含んだ食品を、知らず知らずに口にしている可能性があります。検査をしておらず、流通している商品が今では多くなっていますので、検査をしているものを選ぶことをお勧めします。

栽培管理を行っていない山で採取した山菜や検査を行っていない山菜は放射能が心配されます。山菜は十分に注意をしましょう。また、ジビエや天然淡水魚も注意が必要です。

12月の放射能検査状況

12月の検査は、26日まで行いました。しいたけより、しいたけ(原木栽培)から2件(9.2、11.7Bq/kg)、その他食品より、ブルーベリー&ルテインから1件(8.2Bq/kg)の放射能検出がありました。それぞれの検出数値は基準値以内でした。たまごの検査が終了し、すべて不検出でした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	12月	12月の検出内容		12月	12月の検出内容
青果	18(0)		卵	35(0)	
しいたけ	3(2)	原木しいたけより 9.2,11.7Bq/kg	魚介類	25(0)	
その他のきのこ類	20(0)		飲料水・飲料	5(0)	
米・米飯類	0(0)		乳幼児用食品	35(0)	
牛乳・乳製品	6(0)		その他加工食品	181(1)	ブルーベリー& ルテインより 8.2Bq/kg
肉類	0(0)		合計	328(3)	

2017年度の放射能検査の状況(2017年4月～2017年11月)

青果	今年度は青果・果物からの検出はありません。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1～15Bq/kg)放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	日本の稲作を守る会の玄米(こしひかり)より2件(3.1、4.8Bq/kg)放射能が自主基準内で検出されましたが、白米で検査したところ不検出でした。 2017年産米は、27産地69検体の検査が終了し、2件検出、その他67件不検出でした。重点産地については各産地より複数の検体を検査を行います。それ以外の産直産地については、一産地一検体で検査を行います。複数の銘柄を出荷している場合でも、一検体となります。 *放射能はぬか部分に多く蓄積するため、玄米で検査をおこなっています。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行っております。冷凍さつまいもスティックより自主基準内で1件(1.3Bq/kg)検出されました。
その他加工食品	<お料理セット> 野菜と肉を含めて毎月各メーカーごとに1検体の検査を行っています。2017年よりyumyumでの掲載が開始され、検出下限値は1Bq/kgで行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.1～11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。 <乾物> 2017年7月に岩手県産乾燥しいたけ(5.0Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

●検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を2台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&KidsのOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を1Bq/kgまで検査しております。

検出限界(セシウム134,137それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更		
	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム134,137の合計)			国の規格基準	
2014年10月より現行基準			現	旧
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50	
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100	
しいたけ	100	100		

*乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位Bq/kg)

*乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。